

令和6年度（令和5年度事業対象） 教育事務事業の点検・評価

2 社会教育の充実 [文化推進課所管]

(千円)

No.	事業名	担当課等	事業内容・実施状況	点検・評価	5年度事業費
1	第30回 町民芸術祭開催事業	文化推進課	<p>各教室、個人で習得した技術や作品を広く披露するため、展示部門・音楽部門・芸能部門に分かれて発表する。お互いの作品等を鑑賞するとともに、お茶席・華席を設け、伝統文化にも触れる機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示部門の出品数は17部門 282点、音楽部門は21グループ 313人、芸能部門は29グループ 343人の出演者数があった。</li> <li>・茶席は、2日間で262名の入場者があった。</li> <li>・実施にあたっては、各分野の代表者で組織した運営委員会と委託契約を結び、受付係・会場係・舞台係・リハーサル係等、参加者主体で事業を運営した。</li> </ul> <p>開催日：11月4日～11月5日</p>	<p>【成果】 日頃の文化・芸術活動の発表の場を提供することにより、住民の文化・芸術活動の振興に寄与している。参加者主体の芸術祭であるという意識が根付いてきている。</p> <p>入館者数 令和4年度2,681人→令和5年度2,759人 毎年陰アナを太子高校放送部、ポスター・パンフレットのデザインを太子高校美術部に依頼し、多くの参加者から好評を得ている。 音楽部門(254人→313人)・芸能部門(320人→343人)とも出演者が増えた。</p> <p>【課題】 出演者が増えたため、各団体の入退場に時間を要し、終演時間が遅くなったので、時間を調整する必要がある。</p>	1,158
2	第66回 公募美術展開催事業	文化推進課	<p>近隣地域からも、質の高い美術展として認識され、写真・書・陶芸・絵画の4部門から公募している。毎年、町内外から優れた作品が出品されている。</p> <p>令和5年度は、写真124点、書34点、陶芸23点、絵画70点の出品があった。</p> <p>賞は、町長賞・議長賞・教育委員会賞・文化協会長賞・太子ライオンズクラブ賞・観光協会長賞・奨励賞・神戸新聞社賞である。</p> <p>開催日：10月11日～15日</p>	<p>【成果】 様々な作品を展示することで、出品者の技術向上や来場者においては、芸術に親しみ、感性を高める機会を提供することができた。</p> <p>出品数は、251点(令和4年度は255点)であった。</p> <p>要項の配布先を見直し、町内で活動している団体や近隣学校に配付したところ、昨年出品数の少なかった書が増加した。</p> <p>出品数が多く審査に時間を要していた写真部門については、審査時間を早め、調整を行った。</p> <p>【課題】 運営委員・実行委員のメンバーが高齢化しているため、次世代の人材を確保していく必要がある。</p> <p>展示時間終了後、搬出に時間を要したため、搬出方法を工夫する必要がある。</p> <p>パンフレットの印刷について、短期間の納品となり辞退する業者があるため、会期期間を変更する予定である。</p>	1,044

令和6年度（令和5年度事業対象） 教育事務事業の点検・評価

2 社会教育の充実 [文化推進課所管]

(千円)

No.	事業名	担当課等	事業内容・実施状況	点検・評価	5年度事業費
3	文化団体育成事業	文化推進課	<p>文化協会は、地域の文化振興に寄与し、参加する団体及び個人会員の幅広い交流と相互理解を深めながら、技術の向上をめざすことを目的に設立される。町民の文化・芸術の振興に大きく貢献し、町への協力事業としては、トライやるウィークや公募美術展、月見の會(観月会)などがある。</p> <p>・今年で10回目を迎えた年賀状コンクールは、87通の応募があり、役場1階住民ギャラリー、太子郵便局で展示を行った。</p> <p>・文化会館ロビーにミニギャラリーを設け、美術部門(写真・コパークラフト・陶芸・日本画・俳画・水墨画)の展示を1月単位で行うとともに、常時作品の紹介をHPに掲載している。</p> <p>・華道部(華道池坊・MOA光輪花クラブ・未生流・嵯峨御流)においても、ホールの花の展示スペースに、1月単位で常時作品の紹介を行い、HPに掲載している。</p> <p>[登録団体・登録者数] 25グループ 356人 (令和4年度 24グループ 377人)</p> <p>1 美術部門 計 91人 絵画部・写真部・陶芸部・コパークラフト部</p> <p>2 茶華道部門 計 110人 茶道部・華道部</p> <p>3 芸能部門 計 155人 箏曲部・大正琴部・舞踊部・民謡部・詩舞道部・播州音頭部 フラダンス部・良き恋部</p>	<p>【成果】 文化協会は、町の文化・芸術の振興について、中心的役割を担う団体であり、大きな成果を上げている。 太子町文化協会が当番となっていた西播磨地域ふれあい文化交流会を文化会館にて開催し、参加者を斑鳩寺に案内し、太子みそ館を配るなど町のPRに努めた。</p> <p>【課題】 令和5年度から1グループ増加したが、会員数は21人減少した。 会員が高齢化しているため、会員を講師として、陶芸、写真、伝統文化等の住民参加型体験教室を開催し、若い会員の獲得に努める。 年賀状コンクールの応募が減少(198通→87通)しているため、応募要項の配布方法や参加賞等の賞品について検討する。</p>	1,750
4	文化会館管理運営事業	文化推進課	<p>町民を含めた多くの利用者の触れ合いと交流を図るため、会館施設を提供する。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、利用者が増加した。</p> <p>[令和5年度実績] 貸館利用者数 67,826人(3年度 31,531人、4年度 58,519人) (主な会館修理実績) 大ホール舞台幕取替修理 2,699,400円 中ホールケースメントカーテン取替修理 385,000円 大ホール引割幕ランナー取替修理 275,000円 (新たな業務委託) 文化会館外建物維持改修基本設計業務委託 26,400,000円 ふれあいホール改修工事実施設計業務委託 2,420,000円 ※適応指導教室の移転に伴う改修工事 (主な工事実績) ふれあいホール改修工事 7,887,000円</p>	<p>【成果】 利用団体の新規登録が35件(3年度29件、4年度34件)。 研修室1のエアコンが故障し、6月上旬から10月中旬まで貸館を中止したこと、また、大ホールの利用が減少したことにより、文化会館使用料が前年度比で842,695円減収した。 (4年度 17,614,665円、5年度 16,771,970円)。</p> <p>【課題】 令和5年に行った基本設計をもとに、施工用の詳細な設計図書を作成するための実施設計を予定している。</p>	120,699

令和6年度（令和5年度事業対象） 教育事務事業の点検・評価

2 社会教育の充実 [文化推進課所管]

(千円)

No.	事業名	担当課等	事業内容・実施状況	点検・評価	5年度事業費
5	自主文化芸術事業	文化推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた芸術・文化に触れる機会の提供や、会館を活用した文化活動の支援を行う自主事業を実施した。</li> <li>・開館30周年記念事業として自主事業22公演を実施し、入場者数は12,777人(4年度11,034人)であった。</li> <li>・なつやde文化村では、人形劇、ダンボール迷路、まが玉づくり、絵本の読み聞かせなどを実施した。</li> <li>・中庭で開催した黄昏コンサートでは、キッチンカーなどを募集したところ、5店舗の出店があり、仲間と楽しみながら音楽に触れていただけた。</li> <li>・NHKとの共催で、公開番組である上方演芸会を開催し、好評であった。</li> <li>・令和3年度より始めたホール主催の一般参加イベントとして、「V1(ヴォーカリスト No.1)」グランプリを企画・開催した。</li> <li>・宝くじ採択事業として、宝くじふるさとわくわく劇場を開催した。第2部では、オーディションで選出された出演者が吉本新喜劇に出演し、大盛況であった。</li> <li>・新たな試みとして開館30周年記念事業に住民参加型であるキッズフェスティバルを開催し、令和4年度に参加者(町内の子ども)を募集したところ、書道36名、ダンス10名、合唱14名、器楽24名の応募があった。</li> <li>・県内各地域に様々な文化の普及・振興を図ることを目的としてふれあい文化の祭典「ひょうご民俗芸能祭」を開催した。</li> <li>・公文協アートキャラバン事業として佐渡裕指揮兵庫芸術文化センター管弦楽団、市町ホール活用支援事業として大阪桐蔭高等学校吹奏楽部演奏会を開催した。</li> </ul>	<p>【成果】音楽や講演会など、子どもから高齢者まで楽しめる幅広いジャンルの自主事業を展開し、町民が文化・芸術に触れたり、参加したりする機会を提供することができた。開館30周年記念事業として実施したキッズフェスティバルは、書道の展示及びダンスや合唱・器楽を使ったパフォーマンスを行い、「楽しかった。」「またこういう機会があれば、参加したい。」など住民から好評を得た。</p> <p>【課題】来館者からのアンケート調査により、住民ニーズの高い事業を検討する。買収公演を減らし、新たに陶芸教室、写真展等の住民参加型事業を展開する。</p>	16,000
6	文化財調査整理事業	文化推進課	<p>埋蔵文化財の調査及び出土品等の整理・収蔵を行い、文化財を総合的に把握し、地域の歴史・文化の掘り起こしに努めた。</p> <p>[具体的な内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 埋蔵文化財の発掘調査</li> <li>2 出土品の整理</li> <li>3 令和4年度本発掘調査「吉福西遺跡」出土遺物整理作業</li> <li>4 埋蔵文化財の間合わせ及び取扱い手続き</li> </ol> <p>開発事業に伴う試掘・確認調査</p> <p>石海中部地区 筑紫大道跡 吉福西遺跡 他8カ所</p>	<p>【成果】新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによる経済活動の活発化に伴い、町内での宅地造成工事が急激に増え、試掘・確認調査は昨年度の3件から11件に増加した。同様に、埋蔵文化財の間合わせ及び取扱い手続きも増加している。また、文化財整理作業担当の会計年度任用職員が1名新たに採用され、昨年度実施した吉福西遺跡本発掘調査の遺物整理作業が順調に進んでいる。令和6年度には完了する見込である。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より、文化財担当職員が1名採用され、文化財に関する事務手続きや発掘調査の技術継承が進みつつある。しかしながら、新規採用職員の経験不足、人員不足はいなめない。</li> <li>・地域の歴史文化遺産の保護・活用のためには、今後も、知識や技術の継承を考えた体制の整備が必要である。</li> </ul>	3,477

令和6年度（令和5年度事業対象） 教育事務事業の点検・評価

2 社会教育の充実 [文化推進課所管]

(千円)

No.	事業名	担当課等	事業内容・実施状況	点検・評価	5年度事業費
7	文化財保存活用事業	文化推進課	<p>現存する文化財を将来へ残し、広く地域住民の活用に資するため、県指定文化財や町指定文化財等の維持管理、修理修復を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県指定文化財「鶴荘平方勝示石」他2箇所の清掃管理</li> <li>・国指定文化財「斑鳩寺三重塔」他3件の管理事業の助成(文化財保存整備費補助事業)</li> <li>・沼田獅子舞用具整備事業の助成(一般コミュニティ助成事業)</li> <li>・田中屋台改修事業の助成(市町職員互助会、地域伝統文化振興支援事業)</li> <li>・鶴屋台改修事業の助成(市町職員互助会、地域伝統文化振興支援事業)</li> <li>・令和6年度伝統文化親子教室事業(教室実施型)の提案・申請(沼田獅子連・鶴屋台保存会)</li> <li>・文化財説明板・説明標柱の新設・更新事業(「旧硯橋転用石棺材」「桜井乃水」)</li> </ul> <p>・町マスコットキャラクター「ぼうじい」の活用 スタンプラリー実施・景品作成 ぼうじいラインスタンプ販売 使用取扱規程に基づく使用申請件数(3件)</p>	<p>【成果】 史跡の整備(草刈り等整備)、地域の伝統文化保存団体への助成等を行い、地域の文化財が活用される環境の整備に努めた。文化財説明板・説明標柱の新設・更新事業では、町民体育館の西側に保存されている石棺材の一部についての説明板を設置、また、桜井乃水説明標柱の更新を行った。 沼田獅子舞、田中屋台、鶴屋台への助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図った。 鶴荘勝示石にちなんだ町マスコットキャラクター「ぼうじい」を活用し、地域の幅広い年齢層の人たちに文化財保護について関心を持っていただくとともに、認知度を高めることができた。</p> <p>【課題】 今後、文化財保護の啓発と地域の身近な文化財の活用手法について、体系的かつ長期的な計画を立てる必要がある。そのためにも、文化財の専門的知識を持った職員の育成が必要である。 また、「ぼうじい」の効果的な活用方法について、利活用検討委員会で検討し、文化財事務の所管替えに伴う担当所管の整理を行う必要がある。</p>	7,802
8	歴史資料館 子ども対象歴史教室開設事業	歴史資料館	<p>小・中学生を対象に、体験しながら歴史や文化を学ぶ「歴史探検隊」を5回計画し、4回実施した。うち1回は、ふるさと文化村の複合イベントに合わせて、勾玉づくりのワークショップ、3回は地域の文化財めぐりを実施した。文化財めぐりについては、小・中学生だけの参加については、安全管理が不十分になる恐れがあることから、保護者及び一般の方にも参加してもらった。</p> <p>[実施状況] 1 6月10日 檀特山から町を眺めてみよう 2 8月11日 勾玉を作ろう(なつや de 文化村関連イベント) 3 9月30日 斑鳩地区の文化財めぐり 4 12月9日 石海地区の文化財めぐり</p> <p>このほか、石海小学校対象の夏のふれあい教室での文化財めぐり、学校への出前講座、太田小5年生の「太子町未来プロジェクト」への協力など、町内の学校との連携にも努めている。</p>	<p>【成果】 勾玉づくりのワークショップが昨年度に引き続き大好評だったが、昨年度の反省を生かして募集方法を見直し、1日で終わる人数(49人)で実施することができた。歴史探検隊の事業としてはのべ113人(うち小中学生62人)が参加した。また、檀特山登山に関しては太子消防署と協力して、檀特山登山道に設置されている防火樽の啓発にも取り組んだ。 ・地元の子どもたちに太子町の歴史や文化に触れてもらう機会を提供できた。</p> <p>【課題】 講座内容の充実や新たな体験講座の開発や創出を考える際には、事前の調査・検証が必要であり、現状専門員含め学芸員2人体制で、知識経験の引継ぎを行いながら事業を実施している。 ・地域の歴史文化遺産をまちづくりに生かすためにも、調査研究、保存活用、普及啓発の充実が必要であり、知識や技術の継承及び長期的な計画の元での体制の整備が必要である。</p>	0

令和6年度（令和5年度事業対象） 教育事務事業の点検・評価

2 社会教育の充実 [文化推進課所管]

(千円)

No.	事業名	担当課等	事業内容・実施状況	点検・評価	5年度 事業費
9	歴史資料館管理運営事業	歴史資料館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太子町の歴史を紹介した常設展示を行うとともに、斑鳩寺所蔵の文化財の特別公開を行った。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「斑鳩寺の屏風一人物と花鳥図一」 7月15日～9月3日</li> <li>2 「斑鳩寺の仏さま」 令和6年2月10日～4月7日</li> </ol> </li> <li>・開館30周年記念企画展示を行った。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「絵図がかたどるもの一太子町の絵図から一」 10月28日～12月17日 開館40日</li> </ol> </li> <li>・適切な環境下で、所蔵資料・受託資料を保管した。</li> <li>・突発的な故障として、下記の修理工事を行った。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 展示室のフロアコンセント更新工事</li> </ol> </li> </ul>	<p>【成果】 開館30周年記念事業として、太子町域の絵図や関連資料を紹介する企画展を行った。絵図をテーマにした展示は2001年以来であり、各自治会や所有者から資料を借用し、再調査する中で、絵図を作成する絵師の名前をあきらかにすることができた資料を含めて絵図関連資料を紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展の来館者数は昨年度の「法隆寺領鶴荘と聖徳太子への信仰」と比較すると、ほぼ同期間の会期で約100人減少した(令和4年度:36日で635人、令和5年度:40日で517人)。</li> <li>・これらの展示事業に合わせ、関連の歴史講座を実施し、町内外の人々に、太子町の歴史や文化に対する興味や関心を高めてもらうことができた。</li> <li>・貴重な文化財・収蔵資料を、適切な環境下で保管することができた。</li> </ul> <p>【課題】 令和5年度入館者数は、聖徳太子没後1400年事業として特別公開・企画展を継続して実施した令和4年度と比較すると減少(令和4年度:3,247名→令和5年度:2,595名)した。コロナ禍前(令和元年以前)は、太子あすかふるさとまつりの会場が文化会館一帯であり、多数の入館者を見込めたこと、令和4年度は聖徳太子シンポジウムなど関連行事を多く開催したことにより、来館者の増加を見込めたが、令和5年度はそうした関連行事がなかったことが前年比減少を招いたと解される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、引き続き展示企画を充実させつつ、町広報やHP、SNS、庁舎デジタルサイネージ等を利用した広報に努め、展示観覧者・事業参加者の増加を図りたい。</li> <li>・各設備の点検結果において修繕の必要な設備が増加している。令和6年度に、文化会館とあわせた大規模改修のための実施設計を予定している。</li> <li>・常設展示について、リニューアルを考える時期に来ている。また、大規模改修では対象外となっている展示室のLED化等の展示設備の改修も行う必要がある。</li> <li>・大規模改修期間は、展示事業も停止するが、その期間前後に石海中部地区のほ場整備が予定されており、当該ほ場整備に伴い同地区の荘園調査を行う必要がある。改修期間は、調査研究や収蔵資料の整理など資料館業務の基礎的な活動を深める期間とし、調査手法や知識技術の継承を行いながら改修後の展示・講座等の事業に反映させていきたい。</li> </ul>	18,163

令和6年度（令和5年度事業対象） 教育事務事業の点検・評価

2 社会教育の充実 [文化推進課所管]

(千円)

No.	事業名	担当課等	事業内容・実施状況	点検・評価	5年度事業費
10	おはなしの時間、絵本の時間の開催事業	図書館	<p>1 定期的行事</p> <p>(1) おはなしの時間 86回 440人 毎週土曜日、ろうそくの灯のもとで昔話や物語の一部を語る「ストーリーテリング」、絵本の読み聞かせ(約30分) ア 小さい人のおはなしの時間(4歳～小学2年生) イ 大きい人のおはなしの時間(小学3年生～中学生)</p> <p>(2) 絵本の時間 31回 150人 2・3歳児と保護者に、図書館員が絵本を読み聞かせた。 毎週木曜日・毎月第3日曜日に開催。(約20分)</p> <p>2 臨時的行事</p> <p>(1) 絵本の時間(なつやde文化村)8月11日 26人(子15人親11人)</p> <p>(2) 「おはなしの夕べ」8月18日 ア 小さい人のおはなしの時間(4歳～大人)20人 イ 大きい人のおはなしの時間(高学年以上)20人</p> <p>(3) 「クリスマスおはなしの時間」12月23日 ア 小さい人のおはなしの時間(4歳～大人)21人 イ 大きい人のおはなしの時間(高学年以上)9人</p> <p>3 学校・幼稚園・保育所との連携</p> <p>(1) 施設へ訪問 保育所・幼稚園・学校へ出向き、絵本の読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークを行った。(118回)</p> <p>(2) 図書館に来館 保育所・幼稚園・学校から図書館に来館した際に、施設の説明と館内の案内を行った。(10回 322人)</p>	<p>【成果】おはなしの時間・絵本の時間ともに、子どもと絵本やおはなしを楽しみ、薦めた本を手渡すよい機会になっている。参加するともらえる職員手作りのシールも好評で、集めるのを楽しみにしている子もいる。絵本の時間は、保護者も絵本を楽しみながら、どんな絵本を選べばよいかを伝える場となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例のおはなしの時間には保護者は参加できないが、夏休み、クリスマスには、保護者も子どもと一緒に楽しむことができ、おはなしの時間をPRするよい機会となった。</li> <li>・保育所、幼稚園へは定期的に訪問し、ストーリーテリングや絵本の読み聞かせを実施した。また、斑鳩保育所、龍田幼稚園には毎月訪問時に図書貸出を行った。</li> <li>・前年度にはコロナ感染防止のため実施できなかった小学校訪問を毎学期実施することができ、訪問時に紹介した本を借りて子どもが来館することがあった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の時間の参加者数が前年度に比べ3割減っている。絵本の時間にこだわらず、職員が館内で随時子どもに本を読めるよう、その日の館内の状況を見つつ、カウンター的人员配置等工夫をしていく。</li> </ul>	0

令和6年度（令和5年度事業対象） 教育事務事業の点検・評価

2 社会教育の充実 [文化推進課所管]

(千円)

No.	事業名	担当課等	事業内容・実施状況	点検・評価	5年度事業費
11	図書館管理運営事業	図書館	<p>蔵書の充実を図り、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の利用者に貸し出すとともに、レファレンスサービス、移動図書館などを実施した。</p> <p>[令和5年度の状況]</p> <p>1 蔵書数 170,890冊(受入冊数 3,695冊)</p> <p>2 個人貸出(全体) 利用者数38,841人、貸出点数145,898点(CDを含む)</p> <p>(1) 移動図書館の貸出(内数) 利用者数492人、貸出点数2,347点</p> <p>(2) 播磨圏域広域利用者の貸出(内数) 利用者数6,719人、貸出点数22,987点</p> <p>3 除籍数 1,836冊</p> <p>(1) 一般図書 1,348冊 文化会館常設のリサイクル図書コーナーで住民提供</p> <p>(2) 児童書 488冊 学校図書室や適応教室へ提供</p> <p>4 ブックスタート事業 来館した親子は143組 乳児と保護者に絵本を配布し、読書相談を行う</p> <p>5 本と利用者をつなぐ多彩な催し</p> <p>(1) 一日図書館員 4月23日 1人</p> <p>(2) 13歳からの読書会 8月13日『小さい牛追い』8人</p> <p>(3) スタンプラリー(絵本・おはなし)</p> <p>(4) ひと箱市 10月15日 11人</p> <p>(5) 消しゴムはんこでクリスマスカードを作ろう! 4回16人</p> <p>(6) ちいちゃい秋まつり 10月22日</p> <p>(7) 工作教室 親子でおりがみ 5月7日 9組17人 夏休み工作教室(段ボール工作) 7月24日 2回28人(親子14組)</p> <p>紙バッグ教室(なつやde文化村) 2回9人</p> <p>(8) 「本の福袋」 12月 318冊</p> <p>(9) 読書講演会 142人 開館40周年記念講演「子どもの一生を支える絵本～絵本づくりの現場から～」 講師:小風さちさん・関根里江さん</p> <p>6 推薦図書リストの作成(小・中学生向け)</p> <p>7 役場の各課との連携事業 認知症、自殺対策、男女共同参画等</p> <p>8 研修・職業体験等の受入 教職員初任者研修(5人)、図書館実習(5人)、 トライやるウィーク(4人)等</p> <p>9 図書館の備品等の整備 北側入口庇修理(8月)、書庫移動棚チェーン取替(10月) おはなしの部屋、読書会室空調機更新(3月)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひと箱市」(個人が不要図書を持ち寄り他の人へ譲る催し)や、絵本スタンプラリー、「ちいちゃい秋まつり」「本の福袋」などの行事を継続して実施し、開催を楽しみにしている人が多い。</li> <li>・児童文学作家・小風さちさんと福音館書店編集者を招いた開館40周年記念講演会(2月実施)は、参加された方より「よい講演だった」と感想が多く寄せられた。</li> <li>・親子参加型の工作教室は毎回申込多数。(特に夏休みの段ボール工作教室は申込受付開始日に定員に達した)</li> <li>・季節やその時々々のニュースから特集を考え、図書展示を行うことで、普段利用のない分野の本の貸出につながった。</li> <li>・絵本のスタンプラリーは、楽しみながら幅広く本を読むことにつながっているようだ。</li> </ul> <p>【課題】貸出冊数、利用人数は、令和4年度とほぼ変わらず。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の工作教室は、夏休みの宿題(工作)のために申し込み子どももおり、継続的な図書館利用につなげる工夫が必要。</li> <li>・館内整理日にも事務、清掃等に追われ、正規職員が書架、書庫の整理に手を付けにくい状態になっている。そのため、除籍図書の選定が停滞しているが、魅力的で本が取り出しやすい書架を保つために書庫整理と除籍を行い、除籍図書はリサイクルに回して住民提供し、よい循環を継続していく必要がある。</li> <li>・「13歳からの読書会」は、中学生以上を対象に開催しているが、個別に声掛けをして中高、大学生の参加はなく、参加者は固定化している。</li> </ul>	48,213